

Racing Topics

★中央競馬ニュース 文・谷川善久★

●秋華賞ではヴィブロスがG I 初挑戦初制覇

10月16日(日)の秋華賞(G I)ではヴィブロス(牝3歳/栗東・友道康夫厩舎)が優勝、G I 初挑戦初制覇を果たしました。

●福永祐一騎手のJRA通算勝利数が史上第8位に

10月16日(日)の4回京都5日・第1レースではマルカソレイユが1着となり、同馬に騎乗した福永祐一騎手(栗東・フリー)は、JRA通算1919勝をマークしました。これは藤田伸二元騎手の1918勝を抜き、JRA史上第8位の記録となります。

●山内研二調教師がJRA通算800勝を達成

10月15日(土)の3回新潟1日・第2レースではリトルプリンスが1着となり、同馬を管理する山内研二調教師(栗東)は、史上33人目、現役では2人目となるJRA通算800勝(8211戦目)を達成しました。

●日吉正和調教師が勇退、杉山晴紀調教師が新規開業

日吉正和調教師(栗東)は10月20日(木)付で調教師を勇退しました。JRA通算成績は1192戦28勝でした。これにともない、翌21日(金)付で杉山晴紀調教師(栗東)が新規開業しています。

●リオンディーズ、ショウナンラグーンの競走馬登録抹消

2015年朝日杯フューチュリティS(G I)の勝ち馬リオンディーズ(牡3歳/栗東・角居勝彦厩舎)は、10月13日(木)付で競走馬登録を抹消されました。JRA通算成績は5戦2勝で、今後は北海道日高町のブリーダーズ・スタリオン・ステーションで種牡馬となる予定です。

2014年テレビ東京杯青葉賞(G II)の勝ち馬ショウナンラグーン(牡5歳/美浦・国枝栄厩舎)は、10月14日(金)付で競走馬登録を抹消されました。JRA通算成績は15戦2勝で、今後は茨城県ひたちなか市のセント乗馬クラブで乗馬となる予定です。

●11歳馬スマートギアが勝利

10月15日(土)の3回新潟1日・第4レースとしておこなわれた障害未勝利戦ではスマートギア(牡11歳/美浦・岩戸孝樹厩舎)が1着となりました。11歳馬の勝利は2008年に同じく新潟の障害未勝利戦を制したロードフラッグに並ぶ、JRA所属馬の最高齢優勝記録です。なおJRA外所属馬としてはカラジ(オーストラリア)が2006年・2007年中山グランドジャンプ(J・G I)を、11歳時・12歳時に連覇した例があります。

★地方競馬ニュース 文・宇田川淳★

●来年のJBCは11月3日に大井競馬場で開催

来年、大井競馬場で実施されるJBCの日程が11月3日(祝・金)に決定しました。当日はJRA開催日(京都、福島)となります。

●スーパーマックスが無敗で佐賀の頂点に【各地の主要2歳重賞】

九州ジュニアチャンピオン(10月9日、佐賀、1750^円)は、2番手から4コーナーで先頭に立った2番人気のスーパーマックス(牡、父リーチザクラウン)が後続を4馬身引き離し、デビュー以来の連勝を4に伸ばしました。鎌倉記念(10月5日、川崎、1500^円)は、2番人気の北海道からの遠征馬ストーンリバー(牡、父ホワイトマズル)が4番手追走からゴール前で差し切り勝ち。サンライズC(10月6日、門別、1700^円)は、中国から内を通って伸びた単勝1.9倍で1番人気のヒガシウィルウィン(牡、父サウスヴィグラス)がハナ差の接戦を制しました。若駒賞(10月17日、盛岡、1600^円)は、4番手前後を進んだ2番人気のサンエイリシャール(牡、父フサイチリシャール)が直線半ばで抜け出し、ビギナーズCに続く重賞2連勝。金沢シンデレラC(10月18日、金沢、1500^円、牝馬)は、単勝1.9倍で断然人気のヤマミダンス(父ハーツクライ)が逃げ切り、無傷の3連勝を飾っています。

★海外競馬ニュース 文・秋山響★

●英チャンピオンS～アルマンゾルがファウンドを下す

4つのG Iを含む5重賞が組まれた英チャンピオンズデー開催が10月15日にアスコット競馬場で行われました。そのメインレースとなるG I 英チャンピオンS(芝10⁰⁰メートル)を制したのはフランスから遠征したアルマンゾル(牡3歳、父ウートンバセット)。中国待機から直線で鋭く伸びて、G I 凱旋門賞を勝って臨んだファウンドに2馬身差をつけて優勝しました。良馬場の勝ちタイムは2分05秒94。勝利騎手はC. スミヨン、調教師はJ.C. ルジェ。勝ったアルマンゾルは、ファウンドを2着に下した9月の愛チャンピオンS(芝10⁰⁰メートル)に続くG I 連勝で、今年5月から続く連勝を5に伸ばしました。来年も現役を続行する予定です。

●ジャメカがメルボルンCの有力候補に浮上

10月15日に豪ヴィクトリア州のコーフィールド競馬場で行われたG I コーフィールドC(芝2400^{メートル})は地元オーストラリアのジャメカ(牝4歳、父マイボーイチャーリー)が3馬身差で優勝。昨年11月のG I VRCオークス(芝2500^{メートル})以来となる2つ目のG I 勝ちを果たし、日本からカレンミロティックが参戦を予定する11月1日(火)のG I メルボルンC(フレミントン競馬場、芝3200^{メートル})の有力候補に浮上しました。